

甲府市職員組合執行委員各位
職員組合推薦安全衛生委員会委員各位

2025年12月25日
甲府市議会甲府市職員組合推薦・支持議員
鈴木 篤
山田 厚
藤原伸一郎

過重労働による危ぶまれている市職員の心身の健康確保に 毅然と取り組まれるよう重ねてお願いします

私どもはこの間3回ほど、**市の職員の心身の健康確保**について甲府市職員組合として毅然と取り組まれることを要請してきました。しかし私どもには、いさきかもご連絡をいただけないままの状態が続いています。

重ねて申し上げます。甲府市が中核市になった前後から、甲府市役所内の職員の労働過重性が明らかに強まっています。戦後最悪と思われる、市職員の健康不調者と自己都合退職の激増の実態がつくられています。確かに国策による業務の多忙化傾向が全国の自治体にあります。しかし甲府市職員の労働過重性はその中でも突出しています。

甲府市役所の場合、通常の多忙化の上に、2019年度中核市となり保健所などの2300を超えるといわれる事務事業が市へ移譲されました。しかし、中核市となつても、これまでの条例定数を増やすどころか、人件費コストの削減が続き、**実員数の削減**が続いています。

少なくされた職員数での過重な仕事量では、安全と心身の健康が不調にされ、事故や病気か離職に強いられるばかりです。

- ・条例定数2173名、実員数1818名 = **355名不足**
- ・傷病休暇 = 88名
- ・病気休暇 = 53名
- ・離職 = 64名 (市職員課調べ)

これらは、戦後最多の状態です。

また、総務省資料の**ラスパイレス指數**によると**賃金**も低下し続けています。

2008年度

2024年度

甲府市101.1（全国市平均98.3） → 甲府市97.6（全国市平均98.6）

もちろん類似団体平均や全国市平均と比べても、今や賃金も職員数も足りないのが甲府市です（総務省比較カード）。

これでは年休・育休・病気休暇の代替職員も充分に確保もできません。この人手不足による過重性を是正しなければ、さらに市職員の心身の健康と安全を損なうことは明らかです。そのことは、市民への丁寧な対応が疎かになることにも繋がります。

しかも、来年早々に**大型補正予算の臨時議会**があります。また、**3月には『第7次甲府市総合計画基本構想』の実施計画**を作成することになっています。市職員の多忙状態がさらに多忙化とされます。心配です。この事態を放置するわけにはいきません。

この事態を招いた責任は行政への監視役たる議会の私たちにもありますが、特に甲府市当局と労使対等の当事者である甲府市職員組合にあります。このままでは、貴職員組合の脱退者さえ増えると思われます。

甲府市職員組合の三木委員長をはじめ執行委員の皆さんには、自治体の本来の任務である「住民福祉の増進」として丁寧な市民対応をするためにも、職員の実態調査から是正にむけ甲府市行政当局に毅然と対処すべきです。そして、会計年度職員も含めて市職員全体のゆとりを確保しなければなりません。

私たち推薦・支持議員も共に協力し合い、事態の改善・是正に努めたいと考えます。その連携を強めるためにも貴職員組合の2026年1月～3月期の取り組み状況を文書でご連絡下さい。

また、再度のお願いですが、貴職員組合執行部の皆さんと私たちとの**「市職員数の是正と諸権利の改善と市の健全化」**にむけての交流会も開催していただきたいと思います。

甲府市の健全化に向け、共に改善・是正に努めていきましょう。

以上